



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エフテック

コード番号 7212 URL <http://www.ftech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 祐一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員

(氏名) 豊田 正雄

TEL 0480-85-5211

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	144,145	12.9	4,463	23.1	4,263	16.6	1,316	16.5
27年3月期第3四半期	127,699	0.4	3,626	△24.3	3,657	△27.1	1,129	△54.1

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 610百万円 (△89.5%) 27年3月期第3四半期 5,825百万円 (△22.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	85.70	70.46
27年3月期第3四半期	73.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	139,781	47,690	21.4
27年3月期	132,697	46,356	22.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 29,952百万円 27年3月期 30,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	194,000	10.5	6,500	16.8	6,300	8.8	2,500	41.0	162.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無
 (注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	15,390,000 株	27年3月期	15,390,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	33,734 株	27年3月期	33,687 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	15,356,273 株	27年3月期3Q	15,357,068 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では金融政策正常化、原油価格下落、ドル高の影響が懸念されるものの雇用改善と家計消費の着実な回復が進んでいます。欧州では、地政学的リスクの影響が懸念されるものの堅調な個人消費により回復基調を続けています。中国をはじめとする新興国における経済成長は鈍化しており、景気の停滞が続いています。

日本経済は、個人消費が総じて底堅く推移しており、設備投資はおおむね横ばいで、景気は緩やかな回復基調となりました。

そのような中で自動車業界は、北米では自動車販売が好調に推移しております。アジア地域では、中国市場が、成長鈍化もありますが小型車減税の効果もあり、自動車販売は回復しております。日本においては、軽自動車税増税等があり、軽小型車市場を中心に需要が停滞しました。

このような状況において当社グループは、平成26年4月から開始した第12次中期計画において「圧倒的競争力を持つシャーシシステムメーカーになる」ことを全社方針として掲げ、シャーシシステム体質への変革と環境対応技術強化を図り、真のグローバル化に向けて販売拡大を進めております。

このような中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、北米自動車販売が引き続き堅調に推移するとともに、為替の円安影響等により、売上高は144,145百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益4,463百万円（前年同期比23.1%増）、経常利益4,263百万円（前年同期比16.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,316百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

当社の主要得意先の生産台数減少に伴って受注量が減少し、売上高は15,961百万円（前年同期比16.5%減）と減少し、営業損失は599百万円（前年同期営業利益90百万円）となりました。

（北米）

北米市場は堅調な自動車販売が継続し、為替影響も相まって、売上高は93,067百万円（前年同期比16.4%増）と増加し、営業利益は3,538百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

（アジア）

中国での新規得意先向けの量産立上及びタイでの主要得意先の生産台数の回復等に伴い、売上高は35,116百万円（前年同期比22.7%増）と増加し、営業利益は1,128百万円（前年同期営業利益98百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、機械装置及び運搬具（純額）の増加等により、前連結会計年度末に比べ7,084百万円増加し、139,781百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ5,751百万円増加し、92,091百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、非支配株主持分の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,333百万円増加し、47,690百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月5日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に該当見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ402百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が190百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,983	12,781
受取手形及び売掛金	27,379	24,267
商品及び製品	5,539	5,515
仕掛品	3,766	3,715
原材料及び貯蔵品	8,159	8,579
その他	3,880	4,342
流動資産合計	57,707	59,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,657	20,218
機械装置及び運搬具(純額)	24,687	28,798
建設仮勘定	12,365	13,244
その他(純額)	10,816	10,695
有形固定資産合計	67,527	72,956
無形固定資産		
投資その他の資産	780	698
投資有価証券	5,063	5,233
その他	1,618	1,691
投資その他の資産合計	6,681	6,924
固定資産合計	74,989	80,579
資産合計	132,697	139,781
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,518	18,610
短期借入金	19,099	21,324
1年内返済予定の長期借入金	11,356	12,246
未払法人税等	825	470
役員賞与引当金	88	92
その他	9,904	9,027
流動負債合計	57,792	61,773
固定負債		
社債	4,000	4,000
長期借入金	21,050	21,505
役員退職慰労引当金	212	228
退職給付に係る負債	243	253
負ののれん	78	74
その他	2,963	4,256
固定負債合計	28,548	30,317
負債合計	86,340	92,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,790	4,790
資本剰余金	5,228	5,419
利益剰余金	15,115	16,123
自己株式	△18	△18
株主資本合計	25,115	26,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	858	927
為替換算調整勘定	4,085	2,445
退職給付に係る調整累計額	338	264
その他の包括利益累計額合計	5,283	3,638
非支配株主持分	15,958	17,737
純資産合計	46,356	47,690
負債純資産合計	132,697	139,781

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	127,699	144,145
売上原価	113,063	128,064
売上総利益	14,636	16,080
販売費及び一般管理費	11,010	11,616
営業利益	3,626	4,463
営業外収益		
受取利息	27	37
受取配当金	42	39
持分法による投資利益	283	302
為替差益	94	-
その他	123	141
営業外収益合計	571	521
営業外費用		
支払利息	525	654
為替差損	-	38
その他	14	28
営業外費用合計	540	721
経常利益	3,657	4,263
特別利益		
固定資産売却益	20	155
受取保険金	61	-
特別利益合計	82	155
特別損失		
固定資産売却損	1	4
固定資産除却損	144	63
特別損失合計	145	67
税金等調整前四半期純利益	3,594	4,352
法人税、住民税及び事業税	1,742	1,601
法人税等調整額	△69	△12
法人税等合計	1,672	1,588
四半期純利益	1,921	2,763
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,129	1,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	792	1,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△6
為替換算調整勘定	3,618	△2,042
退職給付に係る調整額	4	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	296	△32
その他の包括利益合計	3,903	△2,153
四半期包括利益	5,825	610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,710	△60
非支配株主に係る四半期包括利益	2,115	670

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	19,114	79,964	28,620	127,699
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,345	1,068	1,416	10,829
計	27,459	81,033	30,037	138,529
セグメント利益	90	3,012	98	3,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,202
セグメント間取引消去	423
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,626

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	15,961	93,067	35,116	144,145
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,702	1,164	1,488	12,354
計	25,663	94,231	36,604	156,499
セグメント利益	△599	3,538	1,128	4,067

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,067
セグメント間取引消去	396
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,463

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。